

平成28年度事務事業評価シート(27年度実績)

◎基本情報

事務事業名	国際・国内交流推進事業		担当部署	市民環境部 文化交流推進課 経済建設部 観光振興課	
総合計画体系			根拠法令 計画など		
基本政策(大項目)	1	うきうき活力と魅力あふれるまちづくり	事業期間	開始	昭和 <input type="text" value=""/> 49 年度
政策(中項目)	2	伝えたい 魅力あふれるまち なんと			終期
(小項目)		国際・国内交流			
施策	2	国際・国内交流の推進			
基本事業	1	交流のひとづくり			

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理														
事業対象	鳴門市民及び姉妹都市															
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	鳴門市と姉妹都市の交流を推進することで、市民同士の相互理解・国際理解を深め、両市の友好関係を強化することを目指す。														
事業計画	27年度に何を計画していたか	第21回鳴門市姉妹都市親善使節団を派遣。青少年派遣を継続して実施し、国際理解を深める機会を創出し、次世代の国際交流を担う人材育成を図る。														
成果目標	事業目標の達成度合	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>使節団新規参加者の割合 リュ市／鳴門市</td> <td>55</td> <td>57</td> <td>55</td> <td>60</td> <td>58</td> <td>%</td> </tr> </tbody> </table>	指標名	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	単位	使節団新規参加者の割合 リュ市／鳴門市	55	57	55	60	58	%
指標名	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	単位										
使節団新規参加者の割合 リュ市／鳴門市	55	57	55	60	58	%										

◎実施結果(DO)

事業実施内容	27年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	第21回鳴門市姉妹都市親善使節団(大人21人・青少年12人)をリュネブルク市に派遣。大人の使節団員は滞在中、恒例のホームビジットでリュネブルク市民と交流を深めた他、リュネブルク市文書館所蔵の板東俘虜収容所関係資料の見学や、鳴門日独友好協会会長と現地チェリストによるピアノとチェロのコンサートの鑑賞など、両市の強い結びつきを再認識する訪問となった。青少年は前回の成果を踏まえ、8人から12人(高校生6人・中学生6人)に派遣人員を増やし、現地での学校訪問やホームステイを通して若い世代の交流が進んだ。					
事業実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 市実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他						
指標名		26年度実績	27年度実績	28年度目標	29年度目標	30年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1 親善使節団参加者数 リュ市／鳴門市	60	33	35	35	35	人
	2 使節団への学生の参加者数 リュ市／鳴門市	12	12	12	12	12	人
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	使節団新規参加者の割合 リュ市／鳴門市	67	66	-	-	-	%
	目標達成率(実績/目標)		115.8	-	-	-	%
今年度の進捗状況	計画どおり	事業全体の進捗状況		計画どおり		(千円)	

財源内訳	年度	区分	国	県	地方債	その他特定財源	一般財源	事業費計
	平成27年度	当初予算額	0	0	0	0	2,911	2,911
		全体予算額	0	0	0	0	2,911	2,911
		決算額	0	0	0	0	2,874	2,874
		繰越額	0	0	0	0	0	0
	人件費	正規職員(6,859千円/人)	臨時職員(2,071千円/人)		総人件費		総事業費	
1.5		0.0		10,289		13,163		

【事務事業名：国際・国内交流推進事業】
(千円)

事業費推移	年度	26年度決算	27年度決算	28年度	29年度	30年度
	事業費	3,129	2,874	2,906	3,681	2,906
	うち一般財源	2,167	2,874	2,906	3,681	2,906
	人件費	17,195	10,289	13,718	10,289	13,718
	総事業費	20,324	13,163	16,624	13,970	16,624

◎項目別評価(CHECK)

評価項目		評価値		所見欄
①活動に対する評価	有効性	B:概ね有効性があった		使節団派遣による新規交流参加者は増加したものの、全体の派遣人数はあまり伸びなかった。
	効率性	B:概ね効率的だった		青少年派遣人数を前回実施時より4人増やしたことにより、補助金の支出は増えたが、より多くの青少年に国際理解の貴重な機会を提供できた。
②成果に対する評価	指標名	使節団新規参加者の割合リュウ市/鳴門市		団員のうち6割以上の人々が初めて使節団に参加し、リュウネブルク市を訪問。新規交流参加者の増加となった。
	目標	57	%	
	実績	66	%	
	評価	A:目標を達成できた		
③総合的な評価		B		青少年派遣事業実施から3年となり、若い世代における継続的な交流が定着し始めた。一方で、一般参加者数は若干伸び悩んでいる。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	<p>これまで第一線で交流に参加していた市民の高齢化が懸念される。そのため、使節団の青少年参加については、両市ともに姉妹都市交流にとって重要であると考えており、今後も継続の見込み。また、姉妹都市交流のさらなる活性化のためには、30～50代の年齢層の参加者の取り込みについて工夫が必要。</p> <p>平成23年に友好都市提携を締結した張家界市とは、日中間の国際情勢の変化等により、締結以来相互の交流が十分に出来なかったことから、今後は、両市の交流を深めるため、人材交流や観光資源等を活用した情報発信など友好交流促進への取組が必要。</p>				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	2
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	平成28年度	<p>第21回リュウネブルク市親善使節団を迎え、鳴門市民との交流を深める。12人の青少年参加者については、市内の中学校・高校で授業参加やホームステイを行う。</p> <p>張家界市出身の国際交流員が赴任していることから、様々な機会を通じ、両市相互間で情報発信等を行い、両市民に友好都市として親しみを持ってもらおう。</p>			
	平成29年度	<p>第22回鳴門市姉妹都市親善使節団を派遣し、リュウネブルク市民と交流を深める。青少年派遣を継続して行うとともに、30～50代の市民にも参加を積極的に呼びかける。</p> <p>張家界市との友好交流については、引き続き情報発信等を行うとともに、様々な分野において交流が図れるよう検討を行う。</p>			